



川西幼稚園だより

令和8年4月

富田林市立川西幼稚園

大人になったあなたを支えるのは、子ども時代のあなたです

園長

石田 安志



ご入園・進級 おめでとうございます。

桜舞う季節。新しい先生、新しいカラー帽子に心を躍らされる子どもたちを見ると私たちも胸が熱くなります。4月は、希望に満ちた季節ですが、同時に子どもたちにとっても、保護者の皆様方にとっても心身共に「適応するだけで精一杯」という時期でもあります。

春の交通安全運動も始まります。統計的に見ても交通事故が起きやすい時期なのです。その原因は「不慣れな道」や「気持ちのあせり」にあります。新年度を迎える子どもたちのなかにも、不安からブレーキをかけすぎてしまう子。反対にやる気が空回りしてアクセルを吹かせすぎてぶつかる子など、いろいろな状態の子どもたちがいます。幼稚園の生活において子どもたちは、必死で自分のアクセルとブレーキを調整している最中なのです。「幼稚園に行きたい気持ち（アクセル）」と「お母さんから離れたくない気持ち（ブレーキ）」。この葛藤の中で子どもたちは疲れを感じることも多いです。帰宅後にすぐに甘えたり、ぐずったりするのは外で一生懸命に調整してきた証拠です。川西幼稚園では、以下のようなサポートと声掛けを意識しています。一つ目は、「ブレーキ」を否定しない。「怖くない」「泣くな」ではなく、「不安なんだね。先生が見ていてあげるよ」とブレーキを踏んでいる今の状態を認めてあげます。「安心・安全」という整備ができて、初めて子どもは思い切りアクセルを踏みだします。二つ目は、「アクセル全開」の子には、「一時停止」を声かけます。興奮して周りが見えなくなっている子には、まずは静かに手をつなぎ、やわらかな視線で「今は、止まる時なんだよ。「こういうときは、こうするよ。」とルールを一つずつ教えます。三つめは、車間距離（心のゆとり）を保つように、見通しが立つように先に全体像を伝えます。「早くしなさい！」という言葉は、時に子どもにとっての車間距離をゼロにしなさい。と受け取られます。心の余裕を作るためには、「はやね はやおき あさごはん」という基本的な生活習慣を身に付けるところから始めるしかありません。遅刻すれば、幼稚園で気まずい思いをしますが、それは、本人に気づいてもらうための漢方薬です。良薬は、くちに苦し。

育てたいこと 4月のねらい

- 5歳児 ・年長になった喜びを味わいながら好きな遊びを思いきり楽しむ。
・生活のリズムを整え、身の回りのことを自らしようとする。
- 4歳児 ・進級した喜びを感じ、自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。
- 3歳児 ・幼稚園で安心できる場を見つける。
・園生活の仕方を知る。

4月生まれのおともだち

今月のお誕生日のお友達はいません。

